

新任者研修会に臨んで

今年度は、新たな任期を迎え、42名の新任者が加わりました(推進員定数160名)。そのうち39名が、4月24日と28日の研修会に出席され、6名の方から感想が寄せられました。

鷹取・青野 ユリエ

推進員を再度引き受けたのはいいのですが、以前に新任者研修会を受けたかどうか記憶がなく、新しく活動ができるか不安だったので、今回の研修に参加しました。

頭の中に少々の土台があったためか、説明もよくわかり、推進員の活動が一段と活発に行われていることに、安心と嬉しさを感じました。



こども育成部こども育成総務課による「横須賀子ども未来プラン」

「青少年育成推進員の位置づけ」の説明は、新しく推進員になられた方たちは自分がどのような立場で何をしたらよいか不安なはずなので後にし、始めに「青少年育成推進員活動の手引き」から説明した方が良かったと思います。

坂本・木下 勇司

推進員になり、横須賀中の方々が集まって、横須賀中の青少年のためにいろいろな活動や話し合いをしてきているのを、初めて知りました。

今まで自分の子どもがお世話になっている幼稚園、小学校、中学校、高校などの行事にできる範囲で参加してきました。地域ではお祭り、盆踊りなど町内活動も積極的にやってきました。

この様に活動している中で今、青少年たちが積極的に参加してくれないと思っています。習い事だったり部活だったりもあつて、仕方がないのかなとも思います。身近な青少年た



野比・細川 真也

推進員を、最初は気軽な気持ちで引き受けましたが、研修会での活動報告などを聴き、その活発さにビックリしました。

今、推進員の役が務まるのかという不安と、皆さんとともに少しでも子どもたちの育成に貢献したいという気持ち半分半分です。やるからには、しっかりとやりたいと思います。

大楠・佐藤 泰幸

この新任者研修会を受けて、推進員の理念や活動実績、組織背景などを知ることができました。

これまで中学のPTAに参加していたものの、それらにうといまま過ごしておりましたが、子どもたちの育成に、多数の大人が関わり、脈々と歴史を繋いできていることにも、さまざまな重さを感じました。これから推進員としての活動を始めるにあたり、自身の中に心地よい契機を与えてくれたように感じています。

馬堀・新明 伸太郎

まず肌で感じたのが、織田会長をはじめとする皆さんが、本当に親身になって青少年の健全育成に尽力されているということでした。

また、各研究部会の紹介では、知識の無い私でもわかりやすい説明でした。はじめのことばかりですが、精一杯頑張りたいと思います。

・ ・ ・ 後期活動 i n f o r m a t i o n ・ ・ ・

わんぱく

フェスティバル

2018

10月28日10時～開催

場所： 県立保健福祉大学（平成町1-10-1）

京急 県立大学駅下車・徒歩約7分

バス 安浦2丁目下車・徒歩約2分

内容： 幼児から中高生による活動発表、各団体による体験コーナーや出店・展示などで、お互いの理解や交流を図ります。

☆☆☆ ご家族皆様さんのご来場をお待ちしております。

☆☆☆ 入場無料！！

～史跡と古道とおりょうさんの街、大津を巡る～

場所： 大津中学校区地域（大津中グランド集合）

概要： 昔から歴史や文化の集まった大津。

一見平坦地だけかと思いがちですが、参加して、歩いて、実感してみてください。

歴史を楽しみながら『竜馬とおりょうさん』のロマンに、タイムスリップしてみてもいかがでしょうか？



第13回
中学校対抗

ウォークラリー大会

12月9日10時～開催

第13回

活動体験発表会

2月9日14時～開催

場所： 横須賀市立青少年会館3階ホール

発表： 田浦・公郷・大矢部・野比の4中学校区と育成研究部会が、日ごろの活動成果を発表します。

ゆうやけこやけ

そういえば、子どものころ空を見上げてポーとして、夕日が沈むのをジッと見つめるなんて、当たり前前やっていた。それなのに、最近ではまったくなくなつた。完全に忘れていた。暗くなるのも忘れて遊んで、ソロバン塾を勝手に休んだことや、塾が始まる前のコロツケの買い食い。結局ソロバンは、ただ通つただけで身につかず、モノにならなかった。そういえば、初めてザルそばを食べた日「こんなに山盛りのそば、いいんだろうか」と、ついうれしくなつて、つゆをかけたなら、テーブルいっばいに流れ出し、上げ底の意味をはじめ知つたんだ。

そういえば、オリンピックの聖火が葉山に来るといふので、新しく買ったカメラを持って葉山の御用邸前で待っていたら、あつという間に選手が通り過ぎ、長く待った甲斐なし。思い出の写真もなし。

「少年老い易く学成り難し」だなんて常識をただ書いてある『論語』はもう古い、意味はない！と、勝手に、漢文なんて無意味と固く信じた青年は、すでに定年を過ぎ、後期高齢者と呼ばれる日はもうすぐだ。

あれっ、そういえば「オリンピックつてもう一度来るんだけど、あなたにとって『夢』ってなんだつたっけ？」（市川 仁）

今年度から広報研究部会の部会長に抜擢され、不安と自信のなさいっぱいでスタートしましたが、頼れるメンバーに恵まれて何とか25号の完成を成し遂げました。26号は、メンバー各々の能力を全部引き出して、より良い広報紙の作成を心掛けて行きます。（K・B）

編集後記

平成30年3月31日発行の本紙24号の4面「横須賀を知ろう『猿島巡り』」の記事中「よこすかシティガイド」との表記は誤りで、正しくは「猿島公園専門ガイド協会」でした。お詫びして、訂正いたします。

お詫び欄